



本校の象徴
「騎馬戦の像」
冠着山を臨み、健康な子どもたちが騎馬を組み協力一致して、心を高くもち前進する姿

令和8年度 千曲市立更級小学校 グランドデザイン

本校の校庭に凛と立つ
「無患子(むくろじ)の木」
無患子(子が患わない)の名の通り、子どもたちの健やかな成長を見守り続けます。



〔学校教育目標〕 目を上げ 手を組み たくましく進む子

児童の実態
○明るく素直な子ども
○学習や運動、清掃活動に前向きに取り組む子ども
○ふるさと学習に親しみをもって取り組み、「さらしな」に愛着をもつ子ども
○友を大切に、他者を思いやれる子ども
○友と伝え合ったり分かりやすく説明したりすることに苦手意識をもつ子ども

願う子どもの姿
自ら考え 自ら学ぶ子ども
他を思いやり 支え合う子ども
ねばり強く最後まで取り組む子ども
身体を鍛え 自ら動く子ども
「さらしな」に誇りをもって生きる子ども

保護者・地域の願い
○心優しく豊かな想像力に満ち、生きる道を切り拓くたくましい子ども
○学校や地域で明るい挨拶ができる子ども
○学校・学年行事に精一杯取り組み、自らを磨く子ども
○ふるさと「さらしな」に誇りを持ち、「さらしな」に学び、生きる子ども

さらに

〔本年度の重点目標〕 自己有用感を高め合い、他者と共に生きる学校 ～仲間と共に「さらにまなびあい」、お互いの良さを「さらにわかりあい」、「ありがとう！」がさらに飛び交う学校づくり～

〔重点目標の具現に向けた具体的な取り組み〕

目を上げ行動できる子 【さらにまなびあい】(知識・技能)	手を組み行動できる子 【さらにわかりあい】(思考・判断・表現力等)	たくましく行動できる子 【ありがとう!】(学びに向かう力・人間性等)
<ul style="list-style-type: none"> ○基礎・基本を定着させる授業実践(「振り返りアンケート」の効果的活用) ○友との関わり合いを通して学ぶ学習場面の創出 ○探究的な学びを支えるデジタルツールの積極的な活用 	<ul style="list-style-type: none"> ○子どもを真ん中におき、自らが主体となる活動の推進 ○たてわり活動やふるさと学習を積極的に推進し、共に支え合う心を育む ○考え伝え合うプロセスを重視した確かな思考力と表現力の育成 	<ul style="list-style-type: none"> ○安心して活動できる居場所や時間を確保し、自己有用感を高められる機会の保証 ○全職員が子どもの良さを認め合い、「ありがとう」が自然に飛び交う温かな環境づくり ○心身の成長を目指した3分間マラソンや縄跳びの通年継続

学校を取り巻く環境
「更級の子どもは更級で育てる」協力的な地域の人々
◆一人一台パソコン・プロジェクター等ICT機器の活用
◆古代体験パーク・佐良志奈神社・円光房遺跡
姨捨伝説「古よりの文化」【日本遺産『月の都』千曲】
◆地元に根差した商店・企業・工場
◆少子化による児童数の減少

豊かな自然と温かな地域に包まれた学校
～持続可能な「更級コミュニティスクール」への取り組み～
◆子ども・保護者・地域・職員が連携し、協働的に学ぶ「さらしな楽校」
◆冠着山・千曲川・棚田・堂の山等の豊かな自然を活かした、地域講師によるふるさと学習
◆「縄文まつり」等の地域の諸行事への参加と協力
◆地域の人材や素材を活かした探究的な学習活動の推進
◆学校だよりやホームページ、Home&Schoolによる情報発信と伝達

〔全校研究テーマ〕 「安心して語り、一人ひとりが成長を実感できる授業づくり」

- (1) 学びを支える「授業づくり」 → 「子どもたちの言葉」で授業をつくる**
- ① 参加しやすい授業形態 ～個▶ペア▶グループ▶全体への流れ＝発言のハードルを下げる～
 - ② 役割を固定しないグループ活動(多様な経験から自己理解へ)・相互支援できる共同追究(考えを持ち寄り、ちがいに気づく)
 - ③ 子どもたちの思考を促す問い、問い返し(広める・深める・つなげる・揺さぶり)
 - ④ 見通しをもった学び(今日の学習の目的が言える・次に何をすればいいかわかる)
 - ⑤ 学びを支える基盤づくり＝ノートの取り方、話し合いの仕方、調べ方、まとめ方、必要感のあるクロームブックの活用
 - ⑥ 友だちの意見を聞き合う経験▶自分の考えを言語化 ⑦ 振り返りアンケートによる児童・教師両方向からの授業評価
- (2) 学びを支える「学級づくり(環境づくり)」 → 目標を共有し、仲間と支え合う、応援しあえるクラスの雰囲気をつくる**
- ① 名前と呼ばれる、さんづけで呼びあう公平な友だち関係 ② 友だちに優しい言葉づかい(思いやり・丁寧さ・あたたかさ)
 - ③ 全員が活躍できる場の設定 ④ クラスメイトから存在を認められる経験の積み重ね(失敗を責めない・多様な意見を歓迎)
 - ⑤ クラス全員で対話のルールを共有する ⑥ 皆がアクティブリスナーに(うなづき・あいづち・アイコンタクト・共感・拍手)
 - ⑦ 「挑戦」▶「できた!」経験の積み重ね ⑧ 友だちの良さを言葉にして伝える活動の継続 ⑨ お互いの学びを認め合う学級文化
 - ⑩ Q-U 検査による学校生活における「満足度(居心地の良さ)」「意欲(やる気)」を測定。より良いクラスづくりのための支援へ